

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名称：PDゴムラテボットパウダー
製品番号(SDS NO)：34101005-3
推奨用途および使用上の制限
推奨用途：土木/建築用材料
使用上の制限：推奨用途以外で取り扱わないこと
供給者の会社名称：中日本高速技術マーケティング株式会社
住所：愛知県名古屋市中区栄 2-3-31 CK22 キリン広小路ビル 2 階
担当部署：技術営業部
電話番号：052-228-8151
FAX：052-228-8152
緊急連絡先電話：052-228-8150(技術営業部)

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1
生殖細胞変異原性：区分 2
発がん性：区分 1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
不浸透性の保護衣、防塵マスク、保護手袋または履物等適切な保護具を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：直ちに清浄な水で最低 15 分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。速やかに眼科医の診断を受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

部外者が触れないような措置をし、保管すること。

厚手のポリエチレン袋等に入れ、保管すること。

廃棄

内容物、容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
石英	14808-60-7	60 - 70	1-548
ポルトランドセメント	65997-15-1	10 - 20	-
炭酸リチウム	554-13-2	< 1	1-154
酸化マンガン(II)	1344-43-0	< 1	1-475

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

本製品は、酸化マンガンが 1%未満、クロム化合物が 0.1%未満含まれているポルトランドセメントを使用しています。

営業上の秘密に該当する成分については、10%刻みで記載しています。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

石英

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

石英, 炭酸リチウム, 酸化マンガン(II)

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

速やかに空気の新鮮な場所に移し、水又は温水でうがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
水または温水で石鹼を使ってよく洗い落とす。
必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で最低 15 分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。速やかに眼科医の診断を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに多量の水を飲ませ、速やかに医師の診断を受ける。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
不燃物質であるため、特定されない。

使ってはならない消火剤

製品に直接水を使用すると安定固化することに留意する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収作業には、手袋、長靴、保護眼鏡、防塵マスク等の保護具を着用し、飛散が皮膚に付着したり、吸入したりしないようにする。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出した場合は、スコップ、箒等で掃き集めるか、掃除機で吸い取り回収する。
床面に付着したものは水で洗い流し、洗浄水は河川等に直接流出しないように、中和、希釈等により適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、防塵マスク等)を着用する。

(注意事項)

換気の良い場所にて取扱う。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/不浸透性の保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。
取扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。
袋の場合、破袋につながるような粗暴な取扱いをしない。

接触回避

保管時：水、湿気、酸

使用時：酸

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

部外者が触れないような措置をし、保管すること。
厚手のポリエチレン袋等に入れ、保管すること。
湿気の多い場所は避け、乾燥した場所に保管する。
10～30℃で乾燥した場所に保管することが望ましい。

安全な容器包装材料

防湿性の容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(酸化マンガン(II))

作業環境評価基準 0.05mg-Mn/m³

(土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん)

$E=3.00 / (1.19Q+1.00) < E: \text{管理濃度 (mg/m}^3\text{)}, Q: \text{当該粉塵の遊離けい酸含有率 (\%)} >$

許容濃度

(石英)

日本産衛学会(2006) (吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m³

(酸化マンガン(II))

日本産衛学会(2021) 0.02mg-Mn/m³ (吸入性粉塵); 0.1mg-Mn/m³ (総粉塵)

(石英)

ACGIH(2010) TWA: 0.025mg/m³(R) (肺線維症; 肺がん)

(ポルトランドセメント)

ACGIH(2010) TWA: 1mg/m³(E,R) (肺機能; 呼吸器症状; 喘息)

(酸化マンガン(II))

ACGIH(2013) TWA: 0.02mg-Mn/m³(R);

TWA: 0.1mg-Mn/m³(I) (中枢神経系障害)

ばく露防止

設備対策

室内で取扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。多量に取扱う場合は集塵機を設置する。

保護具

呼吸用保護具

防塵マスク

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡(安全ゴーグル、顔面シールド等)
皮膚及び身体の保護具
長靴、不浸透性の保護衣

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：固体粉粒体
色：灰色
臭い：無臭
融点/凝固点：情報なし
沸点又は初留点：情報なし
沸点範囲：情報なし
可燃性(ガス、液体及び固体)：不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：爆発性なし
引火点：不燃性
自然発火点：不燃性
分解温度：情報なし
pH：水と接触するとpH=12~13

動粘性率：該当しない
n-オクタノール/水分配係数：情報なし
蒸気圧：情報なし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：該当しない
粒子特性：情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の条件下では危険な反応は起こらない。
水と反応する。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
通常の取り扱い条件下では、安定である。

危険有害反応可能性

通常の取り扱い条件下では、危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件

使用時以外での水との接触。
保管時：水、湿気、酸
使用時：酸

混触危険物質

酸性の製品

危険有害な分解生成物

該当なし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(炭酸リチウム)

rat LD50=525mg/kg (PIM 309F, 2000)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[製品データ]

[pHに基づく分類根拠]

11.5 ≤ pH であることから、皮膚腐食性/刺激性: 区分1に分類した。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[製品データ]

[pHに基づく分類根拠]

11.5 ≤ pH であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1 に分類した。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(炭酸リチウム)

ラビット 軽度の刺激性(IUCLID, 2000)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(石英)

cat. 2; SIDS, 2013

発がん性

[製品]

区分 1A, 発がんのおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(石英)

cat.1A; IARC Gr. 1 (IARC 100C, 2012 et al.)

[IARC]

(石英)

Group 1 : ヒトに対して発がん性がある

[ACGIH]

(石英)

A2(2010) : ヒト発がん性の疑いがある

(ポルトランドセメント)

A4(2010) : ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化マンガン(II))

A4(as Mn)(2013) : ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(石英)

第 1 群: ヒトに対して発がん性があると判断できる物質

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(炭酸リチウム)

cat. 1A; 医療用医薬品集, 2010

cat. add; 医療用医薬品集, 2010

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[成分データ]

[区分 3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ポルトランドセメント)

気道刺激性(ACGIH 7th, 2010)

(炭酸リチウム)

気道刺激性(KemI-Riskline NR 2002:16)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(石英)

免疫系、呼吸器、腎臓(SIDS, 2013)

(ポルトランドセメント)

呼吸器(ACGIH 7th, 2010)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(石英)

甲殻類(オオミジンコ)LL50 > 10000mg/L (SIDS, 2013)

(炭酸リチウム)

魚類(マミチヨグ) LC50=8.1mg/L/96hr (Aquire, 2011)

水溶解度

(石英)

溶けない(ICSC, 2010)

(ポルトランドセメント)

反応する(ICSC, 2001)

(炭酸リチウム)

1.3 g/100 ml (ICSC, 1999)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

その他情報

接触水はアルカリ性を呈することから、環境に影響を及ぼさないように注意する。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処理を行う。または、許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼し、各地域の政令および法に従い適正に処理を行う。

洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意する。

汚染容器及び包装

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処理を行う。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号: 該当しない

正式輸送名: 該当しない

分類または区分: 該当しない

容器等級: 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

国内規制等：該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則に該当しない

粉じん障害防止規則(令 19 号)

石英; ポルトランドセメント

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

石英(別表第9の165の2)
名称通知危険/有害物
石英(別表第9の165の2); 炭酸リチウム(別表第9の337の2); 酸化マンガン(II)(別表第9の550)
がん原性がある物(規則第577条の2第5項)
石英
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
労働基準法
疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)
酸化マンガン(II)
消防法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
じん肺法
石英; ポルトランドセメント
大気汚染防止法
有害大気汚染物質/優先取組
酸化マンガン(II)(中環審第9次答申の225)
水質汚濁防止法
指定物質
酸化マンガン(II)
法令番号 51
適用法規情報
廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報

GHS 分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 1: H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1: H318 重篤な眼の損傷

生殖細胞変異原性 区分 2: H341 遺伝性疾患のおそれの疑い

発がん性 区分 1A: H350 発がんのおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1: H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

Hazard Communication Standard – 2012 (29 CFR 1910.1200)

原料の供給者が発行する安全データシート

略称および頭字語

(E) – The value is for particulate matter containing no asbestos and < 1% crystalline silica.; (I) – Inhalable Particulate matter; (R) – Respirable particulate matter; see Appendix C, paragraph C.; CNS – central nervous system; func – function; impair – impairment; pulm – pulmonary; resp – respiratory

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しているため、新しい知見により改訂されることがあります。必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性があります。取扱事業者は、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を講ずる必要があることを理解した上で活用されますようお願いいたします。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和 4 年度(2022 年度))です。